

わきや あまみ

① 奄美の色さがし



奄美自然体験活動推進協議会

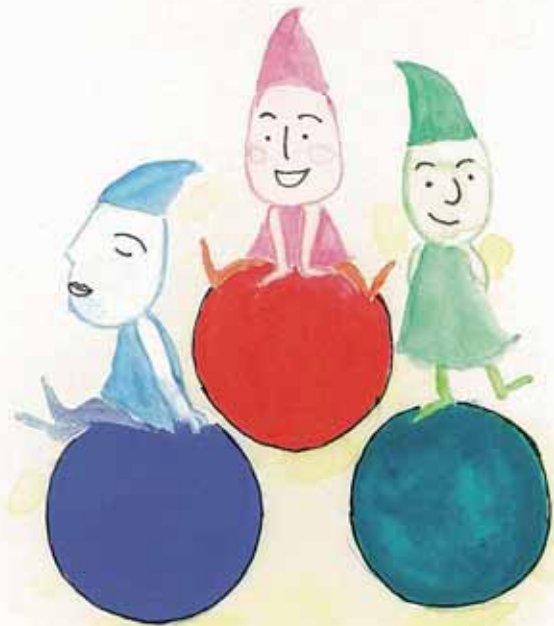
旅の準備をしよう

今日朝起きてから今まで、みんなはどんな色を見たかな？ 晴れていたら青い空に白い雲、雨やくもりの日は灰色はいいろの空と雲、海の色は何色だった？ 植物や動物を見たのなら、それはどんな色だった？ 自然の中はたくさんはうこの色でいっぱいだね。わたしたちの住む奄美の島々は、自然の宝庫はうこであると共に、色の宝庫はうこでもあるんだよ。さあ、外に出て自然の色さがしの旅に出かけてみよう！

知っていますか？ 『光の3原色』

ふだん、わたしたちの目に見える色は、様々な性質せいしつの光で作られています。その中で一番基本きほんになる3つの色、赤・青・緑を『光の3原色』はうこっていうんだ。

例えば、紫むらさきは赤と青をまぜればいいよね。赤をたくさんまぜれば赤に近い紫むらさき、というように、まぜ方を変える事で、ほとんどの色をこの3つの色から作る事ができるんだって。



テレビやパソコンの画面をよーく見てみると、赤・青・緑の小さな点がたくさん見えるんだ。

この3色の小さな点が光り方えいぞうを変えることで、きれいな映像が見えているんだね。

これから青・緑・赤の3色を中心に、奄美の自然を見てみよう。

ふだん見なれた生きものでも、よーく見てみると『あれっ？こんな色があったんだ！』とおどろきの発見があるかもしれないよ！



『光の3原色』でみる、奄美の歴史

青い海が島を生む

奄美の島々は、もともと本土や中国大陸の一部でした。長い地球の歴史の中で、海の水位は上下し、それによって島ができました。奄美の島の中には、奄美大島のように高い山の一部が残ったタイプと、与論島のようにサンゴ礁が水面から出てきたタイプがあります。奄美の島々が今のような島に分かれてから、100万年ぐらいたつと考えられています。



緑の木々が森を作る

奄美の豊かな森はどうしてできたのでしょうか？海に沈まなかった島では、大陸の一部だった頃の木や草花が生き残りました。一方、何も無い裸の島には鳥や海流によって植物の種が運ばれてきました。奄美の島々は雨が多く、あたたかいので植物はグングン成長し、やがて深い森になりました。



赤い炎が人の生活を支える

奄美の島々に人がわたってきたのは1～2万年前と言われています。最初に島にやってきた人たちは、火を使って食事を作ったり、あたたまったりしていたのでしょう。島に暮らしてきた人たちは、魚や木の実など海や山からの豊かな恵みを受け、時には台風などの自然と戦いながら今の生活を築いてきました。



どうですか？色を使うと昔の事まで見えてきますね。次はこの3つの色を使って、自然の中をのぞいてみよう！

青探しの旅に出よう

自然の中の色さがし、最初の色は空と海の色、青だよ。左のページはすぐに青が見つかる生きもの、右のページはちょっとがんばってさがしてみると青が見えてくる生きものだよ。みんなの周りではどれだけ見つけれられるかな。

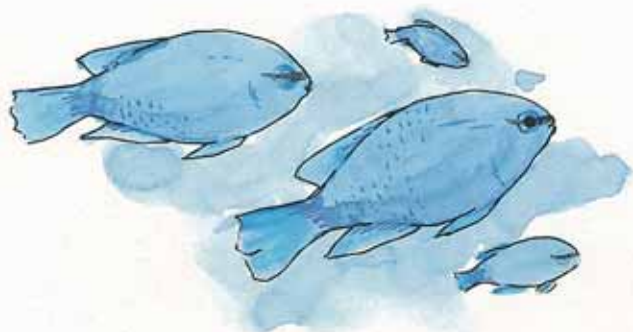


リュウキュウコスミレ

場 所：平地～山
季 節：1年中
大きさ：高さ3～12cm、花の大きさ2cm

イソヒヨドリ

場 所：海の近く
季 節：1年中
大きさ：25cmくらい



ルリスズメダイ

場 所：サンゴ礁^{サンゴ}
季 節：1年中
大きさ：7cmくらい

アオスジアゲハ

場 所：町～山
季 節：春～秋
大きさ：はねを広げて6cmくらい



ノアサガオ

場 所：人家の周り

季 節：春～秋

大きさ：花の大きさ6cm

どこが青？：朝だけ青い（夕方は赤）



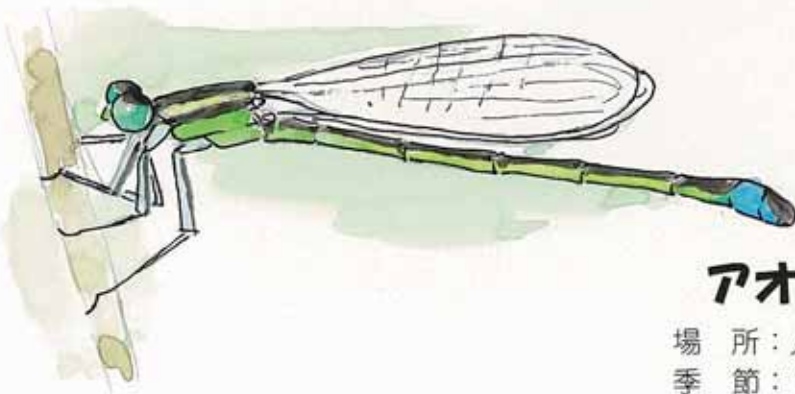
スアカアオバト

場 所：平地～山の林

季 節：1年中

大きさ：35cm

どこが青？：くちばし



アオモンイトトンボ

場 所：人家の周り

季 節：1年中

大きさ：はねを広げて3.5～4cmくらい

どこが青？：腹部の先

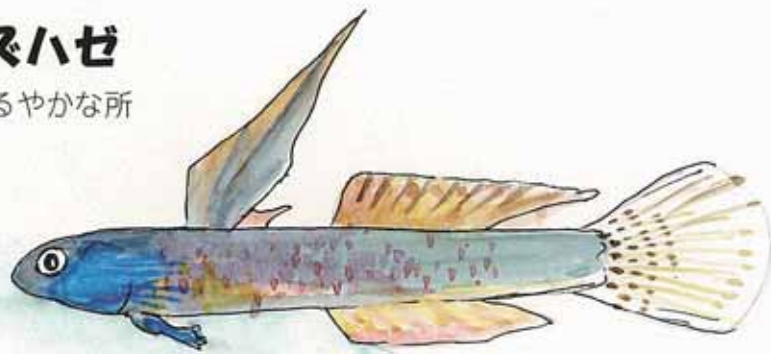
ナンヨウボウスハゼ

場 所：川の流れのゆるやかな所

季 節：1年中

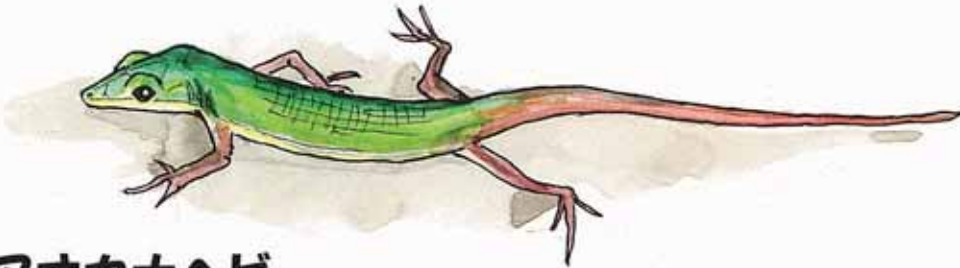
大きさ：3cmくらい

どこが青？：オス



緑探しの旅に出よう

色探しになれて来たかな？次の色は緑だよ。森の中は緑でいっぱい。その中にかくれた緑色の生きものたちをさがしてみよう。

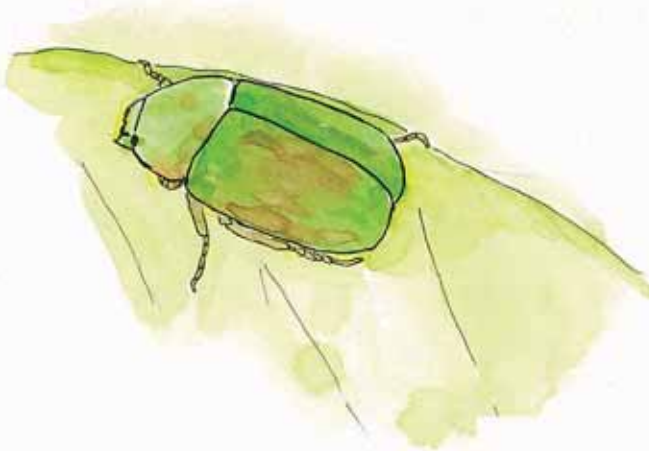


アオカナヘビ

場 所：草むら～山
季 節：1年中
大きさ：25cmくらい

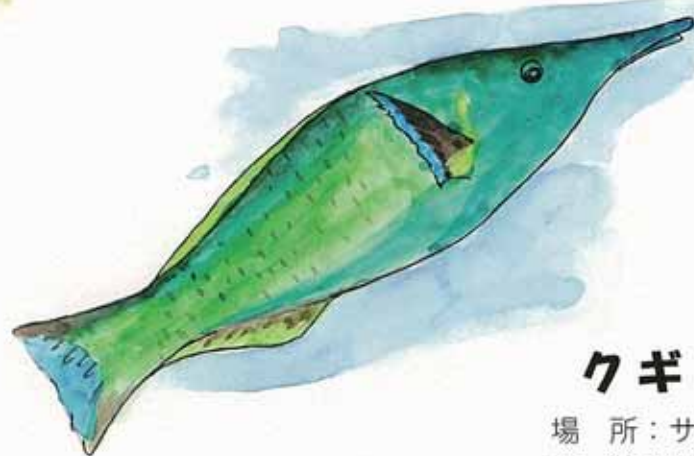
ハロウェルアマガエル

場 所：^{しづみ}湿地・川
季 節：1年中
大きさ：4cmくらい



アオドウガネ

場 所：人家の周り
季 節：春～夏
大きさ：1.6～3cmくらい



クギベラ

場 所：サンゴ礁^{しょう}
季 節：1年中
大きさ：25cmくらい

カラスバト

場 所：平地～山の林

季 節：1年中

大きさ：40cmくらい

どこが緑？：首の周りが緑色にかがやく



ガラスヒバァ

場 所：人家の周り～山

季 節：1年中

大きさ：70cm～100cm

どこが緑？：背中の模様の一部



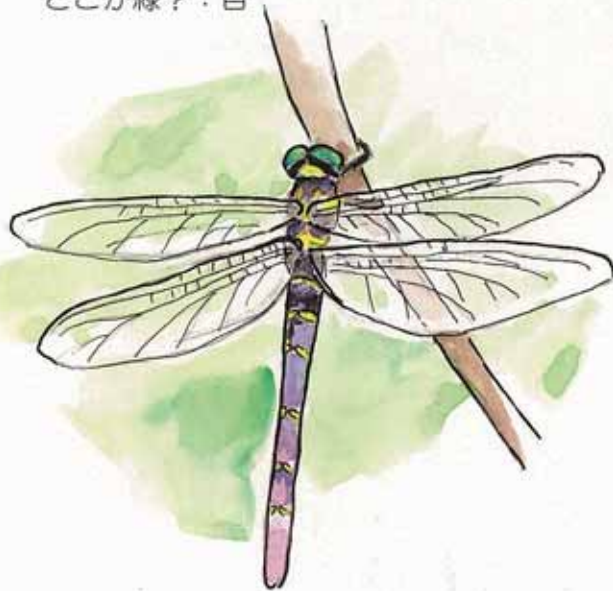
オニヤンマ

場 所：山中の水場

季 節：夏

大きさ：はねを広げて11cm～13cm

どこが緑？：目



ノコギリハギ

場 所：サンゴ礁^{しょう}

季 節：1年中

大きさ：10cm

どこが緑？：目の周り

赤探しの旅に出よう

今まで青と緑でどれだけ見つけれられたかな？最後の色は赤だよ。身の回りの赤色は、信号やポストみたいに目立つものが多いけど、自然の中の赤はどうか。

ソテツ(実)

場 所：海の近く

季 節：秋～冬

大きさ：4cm



アカマタ

場 所：人家の周り～山

季 節：1年中

大きさ：80～200cm

ベニツチカメムシ

場 所：人家の周り

季 節：春～梅雨つゆの頃

大きさ：1.5～2cm



ハマクズミ

場 所：サンゴ礁

季 節：1年中

大きさ：12cm



ゲットウ

場 所：人家の周り
季 節：夏
大きさ：高さ2~3m、花の大きさ4cm
どこが赤？：花の中

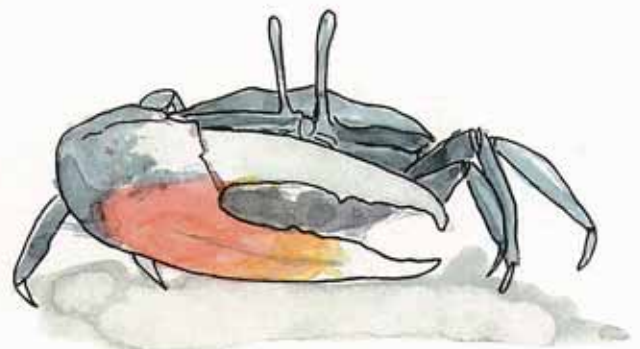
ベニアジサシ

場 所：海岸
季 節：夏
大きさ：30cmくらい
どこが赤？：くちばしと足



ナガサキアゲハ

場 所：低地
季 節：春~秋
大きさ：はねを広げて11~13cmくらい
どこが赤？：メスのはねの一部に赤い点



ベニシオマネキ

場 所：^{マガ}干潟
季 節：1年中
大きさ：3cmくらい
どこが赤？：大きな方のはさみの下部分

もっと楽しい旅のために…

自然の中の色さがし。みんなはどれくらい見つけれられたかな。青や緑、赤の生きものをさがしていく中で、自然の中には本当にたくさんの色でいっぱいなのに気づいたかな。

ここでは『どうしてこんな色をしているんだろう？』ということについて、ちょっと考えてみよう。

目立つことっていいことなの？

カバマダラというチョウは、黒いふちどりのあるオレンジ色のはねがとても目立ちます。しかもゆったりした飛び方で、天敵の鳥にすぐ見つかってしまいそうです。でも、鳥はこのチョウを食べようとしません。このチョウはの幼虫の時に毒のある植物を食べ、その毒を成虫になっても体に残しています。目立つ色やゆったりした飛び方は、『毒を持ってるんだぞ。』と敵にアピールしていると考えられています。



植物の中にはあざやかな色の実をつけるものがあります。赤い実のアコウなどがそうですね。緑色の葉に対して赤い実はとても目立ちます。これは、実を食べてその中にある種を運ぶ鳥に対するアピールです。自分で動く事のできない植物の中には、鳥の力を借りて、自分の子孫を遠くまで広げてもらうものがあります。ズアカアオバトやヒヨドリがそのターゲット。『そろそろ食べごろだよ、食べてもいいから、そのかわりに種を運んでね！』という植物のメッセージが込められています。

このように生きものの中には、あざやかな色で他の生きものの注意を引いているものがあります。そしてその色が伝えるメッセージは、生きものによってそれぞれ違います。

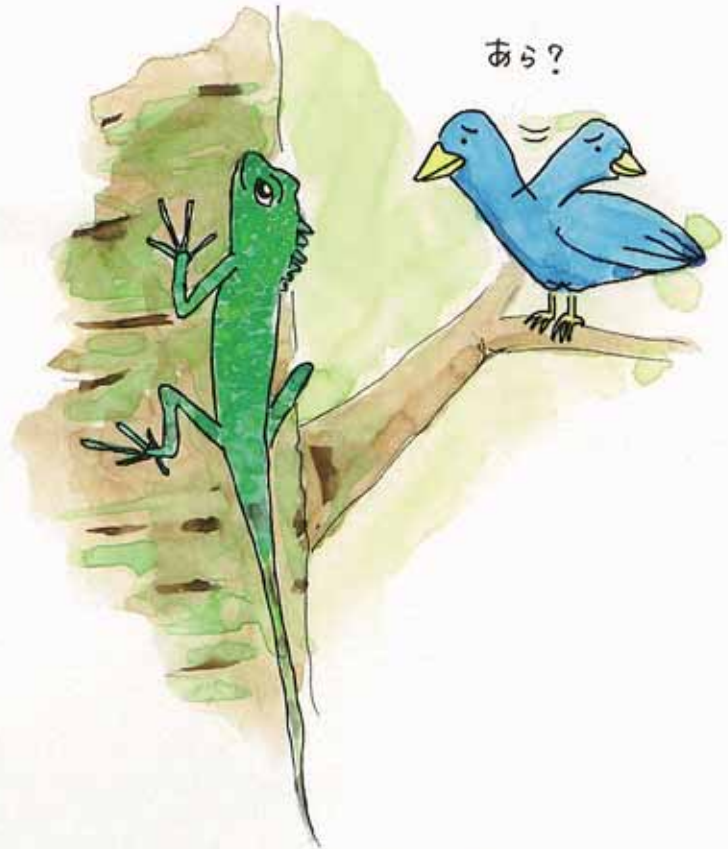
地味にしても頑張っているよ!!

沖永良部島にはコノハチョウというチョウがいます。このチョウははねを広げるとあざやかな色をしています^と、閉じてしまうとまるで木の葉のようで見つけれません。

キノボリトカゲはまるでカメレオンのように体の色を変えることができます。あなたの見たキノボリトカゲは何色をしていましたか？それはきっと周りの色に上手にとけこんでいたはず^{じょうず}です。

他にもナナフシのように、自然の中で目立たずにジッとかくれている生きものは意外に多いのです。それは、敵に見つかることを防ぐため^{てき}で、もし動いてしまえばアッサリと敵に見つかり、食べられてしまいます。

動き回ってにげることは逆の意味^{ぎゃく}で、目立たずに動かないでいることも、立派な作戦のひとつ^{りっぱ}なのです。

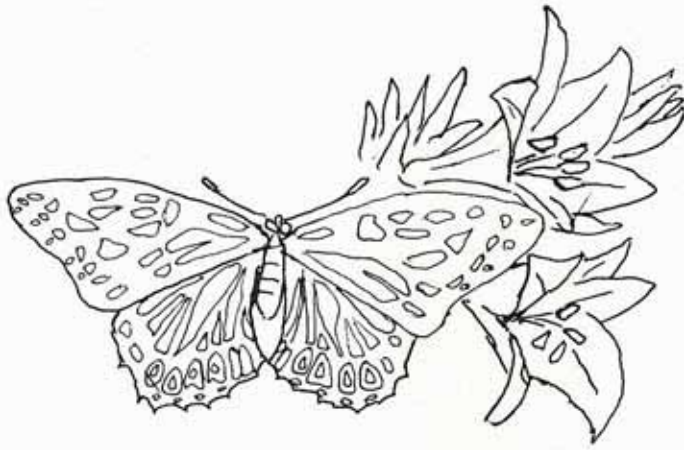


目立ったり、周りに溶け込んで目立たなかったり

生きものがいろいろな色をしているのには、自分たちが生き残るためのいろんな意味が込められているんだよ。すると『バーバートカゲがしっぽだけ青いのはなぜ?』『ツマベニチョウのはねの赤いところにはどんな意味があるの?』…などなど、いろいろな疑問^{ぎもん}がわいてくるね。でも、生きものの色の意味が分かっているのは、ほんの少しだけなんだ。

生きものの色さがしで目がなれてきたら、次はその生きものが何をしていたか、その動きを追いかけてみよう!何かおもしろい発見があるかもしれないよ。

ウケユリとアカボシゴマダラ



リュウキュウアユ

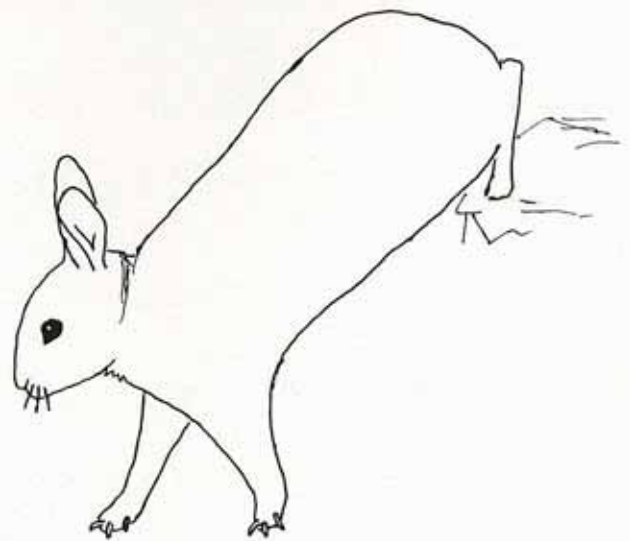


ルリカケス



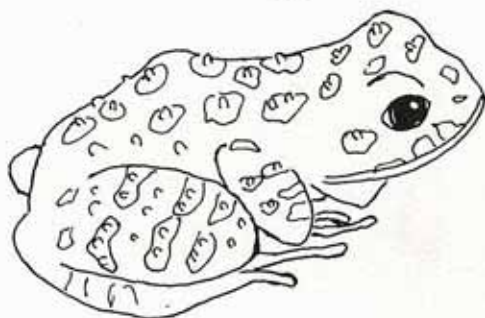
この色をいつまでも

奄美にすむ絶滅が
心配される生き物たち



アマミノクロウサギ

イシカワガエル



ずかんでさがして色をぬってみよう。

こんなのもいたよ!

なまえ

スケッチ

見つけた日

月 日 時 分ごろ

見つけた場所

(〇〇小学校近くの川のそば)

生き物

メモ (どんな色をしていたか、何をしていたか)

こんなのもいたよ!

なまえ

スケッチ

見つけた日

月 日 時 分ごろ

見つけた場所

(○○小学校近くの川のそば)

生き物

メモ (どんな色をしていたか、何をしていたか)

生きものの情報を集めています

みんなが見た生き物はどこにいたのかな？そして何をしていたのかな？

奄美野生生物保護センターではみんなの見た生きものの情報を集めているんだ。みんなが持ってきてくれた情報はセンターで整理して、みんなが自由に見たり、問い合わせたりすることができるようになるよ。そうすると、

- ・みんなが見たい生きものについて、『何月何日の何時ごろに、どこに行けば見られるよ』ということが調べられるよ。
 - ・みんなからの生きものの情報がたくさん集まると、『前はたくさんいたのに、最近見られないよ』みたいな変化がすぐ分かるようになるんだよ。
- みんなが見つけた生きもののことを教えてね。

【教えてほしいこと】

- ・見つけた日付、時間
- ・生きものの名前（分からないときは見たときに気付いたことを教えてね）
- ・見つけた場所やいた場所の様子
- ・気付いたこと（どんな声で鳴いていた？何をしていた？など）

*教えてくれた情報で分からないことがあったらセンターからあとで質問することもあります。だから君の名前や連絡先も教えてね。

<送り先> 〒894-3104

鹿児島県大島郡大和村思勝字腰ノ畑551

奄美野生生物保護センター

でんわ：0997-55-8620

F A X：0997-55-8621

発行：奄美自然体験活動推進協議会

(環境省沖縄地区自然保護事務所、鹿児島県、名瀬市、宇検村、瀬戸内町、住用村、龍郷町、笠利町、喜界町、徳之島町、天城町、伊仙町、和泊町、知名町、与論町、大和村)

文：中村友洋 絵：里村兆美

2002年3月発行

このパンフレットは再生紙(古紙100%)を使用しています。

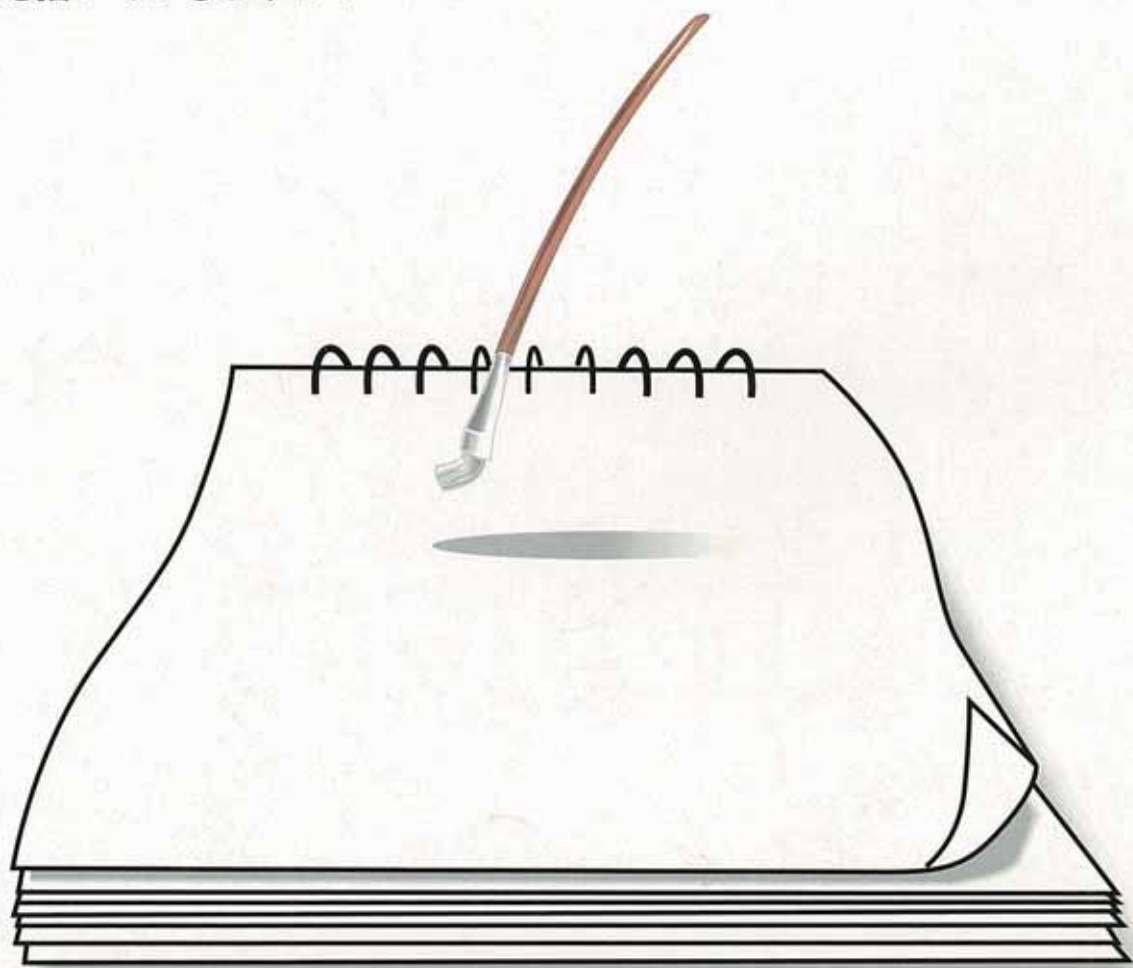
さあ、次の旅へ!

いろいろな色の光を作り出すことができる、おもとの3つの色を持っている生きものをさがしてきました。今度はちがう色の生きものもさがしてみよう。

ところで、今まで見てきた青・緑・赤の3色の光は、同じ強さでまぜると『白』になります。知っていましたか。これまで色探しをしてきたみんななら、白い色がある生きものはたくさん見つけれられるよね。

ところで、みんなは『白』という色にどんなイメージを持っていますか？ここでは『白い紙』をイメージしてみよう。何も描かれていない紙、みんなが自由に何でも描くことができる、それは『未来』と似ているよね。未来はまだ何も決められていないから、自由に作ることができるんだ。

『未来の奄美』というタイトルで、白い紙がみんなの手の中にあります。描くものは自由です。みんなは、その白い紙にどんな人たちのくらしを、そしてどんな自然を描いていきますか？



年 組 名前

【パンフレットの修正】

- ・ 7ページ右下

ハナクマノミ → ハマクマノミ

- ・ 11ページ右上のリュウキュウアユ

リュウキュウアユには背びれと尾びれの上に「アブラヒレ」があります。

